

国際共同研究「アジア乳がんコンソーシアム」に対する「乳がん予防を目的とした疫学調査」の DNA 試料の提供

1. 研究の対象

2001年から2005年にかけて、長野県の4病院（長野松代総合病院、長野赤十字病院、長野市民病院、北信総合病院）において行われた「乳がん予防を目的とした疫学調査」で研究にご協力下さった乳がん症例（405名）/乳がん対照（405名）のうち、「提供する試料が、研究期間終了後も長期間保存され、将来、新たに計画、実施される遺伝子の分析を含む医学研究に使用されることに同意します」という項目に同意して下さった乳がん症例（401名）/乳がん対照（401名）を対象としています。

2. 研究目的・方法

◇ 研究の目的

乳がんのリスク要因として、環境要因のみならず、遺伝要因も重要な役割を果たしていると考えられています。本研究では、長野県の4病院（長野松代総合病院、長野赤十字病院、長野市民病院、北信総合病院）において実施された「乳がん予防を目的とした疫学調査」で収集されたDNA試料を、国際共同研究「アジア乳がんコンソーシアム」に提供し、アジア人における乳がん発生リスクの一因となる新規の遺伝子多型を同定することを目的としています。

◇ 研究の方法

国際共同研究「アジア乳がんコンソーシアム」では、アジア人における乳がん発生リスクの一因となる新規の遺伝子多型を同定するため、3段階の研究を計画しています。第1段階として中国上海のデータを用いて全ゲノム解析を行います。第2段階として第1段階で候補となった複数の遺伝子多型から絞込みを行います。第3段階として第2段階で絞り込まれた遺伝子多型を「他のアジア人集団」で検証します。本研究では、「他のアジア人集団」のサンプルとして、「乳がん予防を目的とした疫学調査」で収集されたDNA試料を、国際共同研究「アジア乳がんコンソーシアム」の第3段階の研究に提供します。

◇ 研究の実施期間：機関長による許可日～平成30年3月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

- ① 「乳がん予防を目的とした疫学調査」で収集された性別、生年月日、がん罹患日等の臨床情報
- ② 「乳がん予防を目的とした疫学調査」で収集された生活習慣アンケート等の調査情報

- ③ 「乳がん予防を目的とした疫学調査」で収集された白血球検体を含む血液検体等の生体試料

* 白血球検体から DNA を抽出して、遺伝子解析研究を行うことがあります。

4. 外部への試料・情報の提供・公表

◇ 試料・情報の提供

「乳がん予防を目的とした疫学調査」で収集された個人情報、長野県の4病院（長野松代総合病院、長野赤十字病院、長野市民病院、北信総合病院）に保管されています。本研究で用いる試料・情報等は、前述の4病院で匿名化され、対応表も4病院で保管されています。「5. 研究組織」に示す海外の研究機関に試料・情報等を提供する場合は、必要に応じて、国立がん研究センター 社会と健康研究センターの個人情報管理室で更なる匿名化を行ってから提供します。再匿名化を行った際の対応表は、国立がん研究センター 社会と健康研究センターの個人情報管理室で厳重に保管・管理されます。

◇ 情報の公表

研究の成果は、論文および学会等で発表します。遺伝子解析の結果は、集団の頻度として表され、個人が特定できることはありません。

5. 研究組織

米国バンダービルト大学 Wei Zheng (研究代表者)
国立がん研究センター 津金 昌一郎

6. 問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報、知的財産の保護に支障のない範囲で、研究計画書、および関連資料を閲覧することが可能です。また、試料・情報が、当該研究に用いられることについて、対象者の方、もしくは対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。この場合も対象者の方に不利益が生じることはありません。

◇ 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

国立がん研究センター 社会と健康研究センター 予防研究グループ内
研究事務局 山地 太樹
〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1
電話 03 (3547) 5201 (内線 : 1785)

◇ 研究責任者

国立がん研究センター 社会と健康研究センター
センター長 津金 昌一郎

◇ 研究代表者

米国バンダービルト大学
Wei Zheng